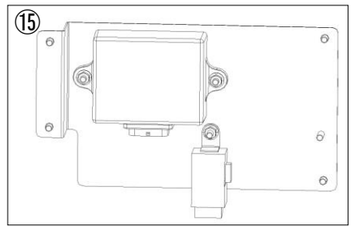
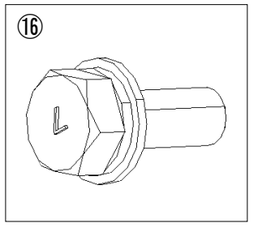
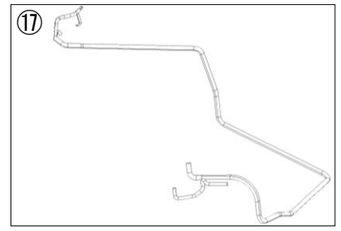
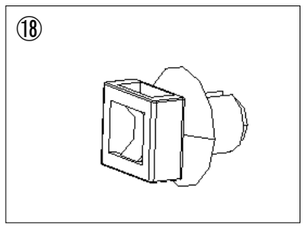
1.部品表

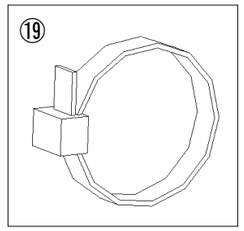
No	部品番号	部品名称	個数	備考
1	3744 9721 000	モータアッシ	1	
2	A252 0708 020	トラスコネジ	1	M8X20、モータアッシ取付用
3	0350 0130 815	ワッシャ	1	φ15xφ8.5xt1.0
4	0520 0125 016	ワリピン	1	
5	3610 5554 000	カラー	1	
6	3686 6515 000	ワッシャ	1	φ44xφ20.5xt3.2
7	3686 6514 000	スプリング	1	
8	3744 9730 000	プーリアッシ	1	
15	3744 9750 002	ユニットアッシ	1	
16	H144 0106 016	ボルト	4	M6X16、ユニットアッシ取付用
17	3699 0837 001	ハーネスW	1	
18	1048 3408 000	クランプ	1	
19	0051 1032 070	ワイヤバンド	4	ハーネスW固定用
22	0050 2110 083	クランプ	1	ハーネスW固定用。長さ100、M8用
23	3686 0934 000	スイッチアッシ	1	選別風ダイヤルスイッチ
24	3744 9761 002	取付要領書	1	本紙

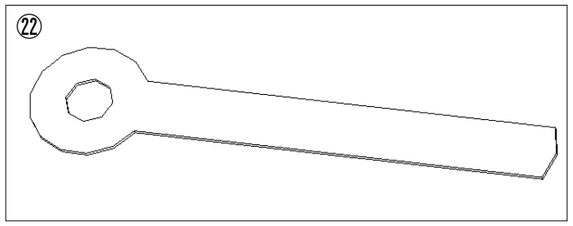


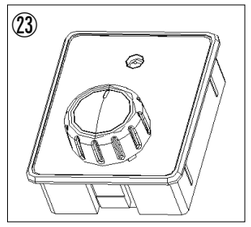


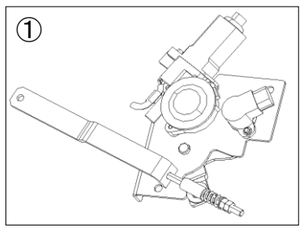


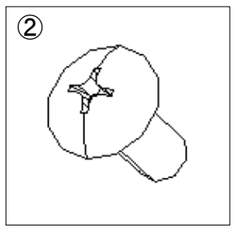


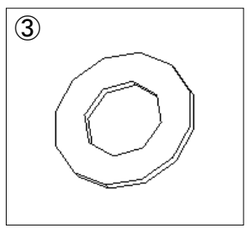


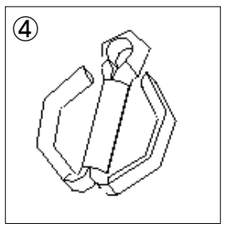


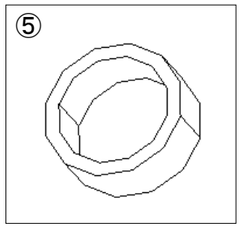


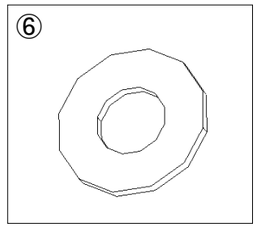


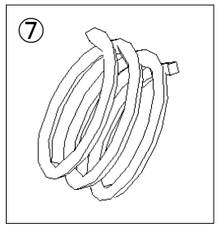


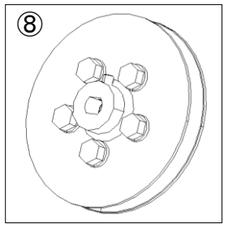












2.作業手順

取り外した部品は、あとで使用することもありますので、保管しておいていください。

1.グレンタンクを開き、脱こくサイドカバー(上下)を取り外します。(取扱説明書による)

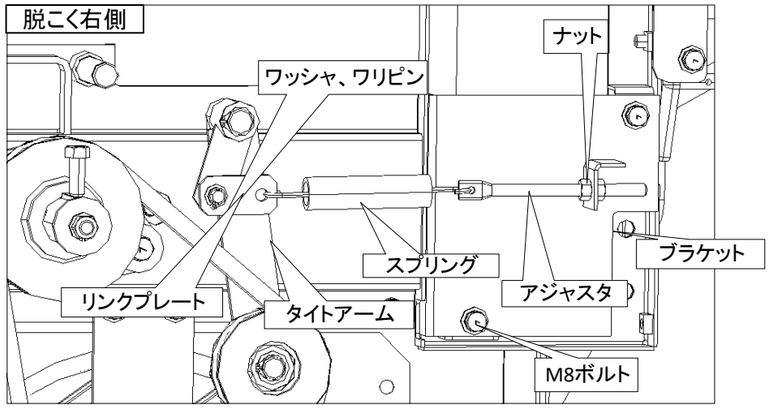
2.下図の要領で、ブラケットを取り外します。

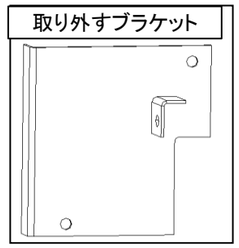
(理解のために、周辺部品を消してあります)

1)ナットを外し、アジャスタ、スプリングを取り外す

2)ワッシャ、ワリピンを外し、タイトアームからリンクプレートを取り外す

3)M8ボルト2ヶを取り外し、ブラケットを取り外す





3.下図の要領で、プーリを交換します。

1)M8止ボルト、M10ナット、スプリングワッシャ、ワッシャを外し、プーリを取り外す

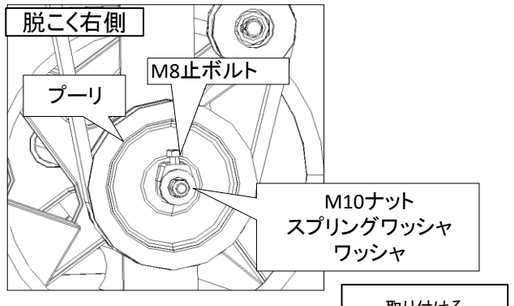
2)プーリを取り外した後、⑤カラー⑥ワッシャ⑦スプリング⑧プーリアッシを組み付ける

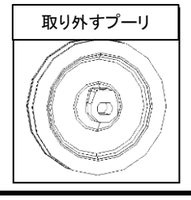
⑧プーリアッシ組付け時、はめあい部へリチウムグリス塗布、充填すること

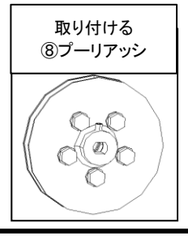
3)1)で外した、M10ナット、スプリングワッシャ、ワッシャを組み付ける

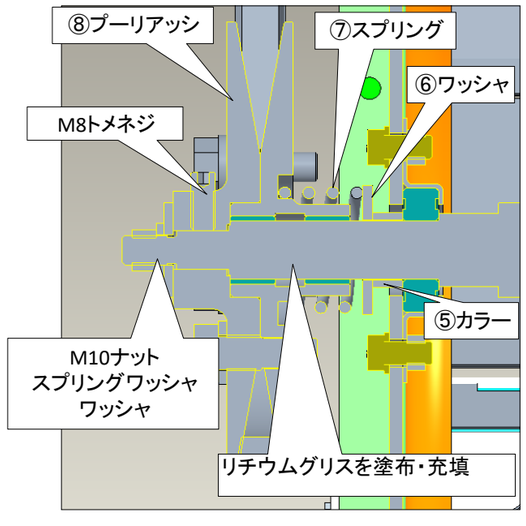
4)⑧プーリアッシ内のトメネジを締め付ける

締付けトルク24.5～29.4N・m(250～300kgf・cm)







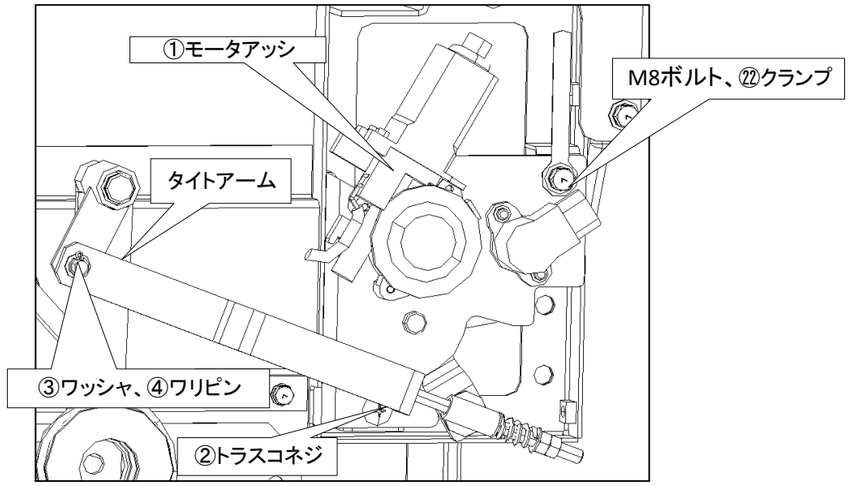


4.下図の要領で、モータアッシを取り付けます。

1)手順2.で取り外したM8ボルト1ヶと②トラスコネジで、①モータアッシを組み付ける

M8ボルト部は㉒クランプを共締めすること

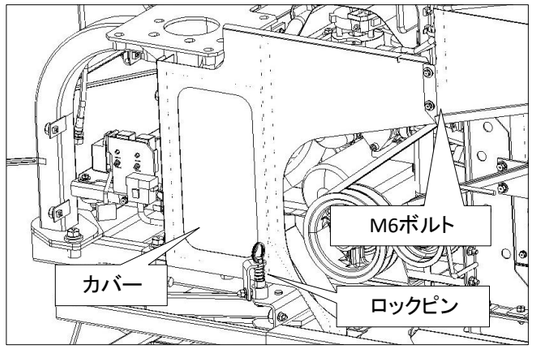
2)①モータアッシとタイトアームを、③ワッシャ、④ワリピンで組み付ける

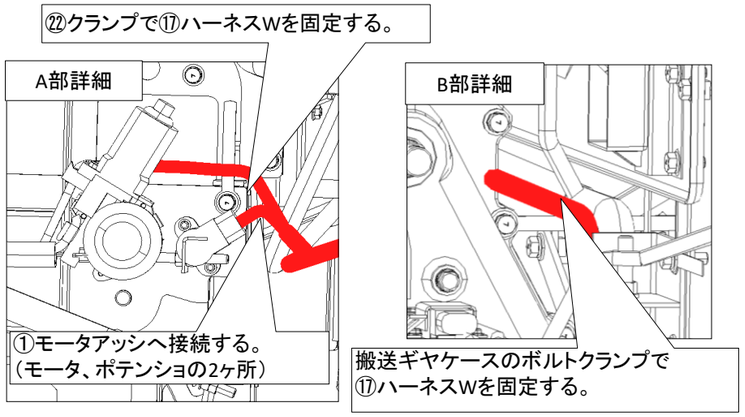


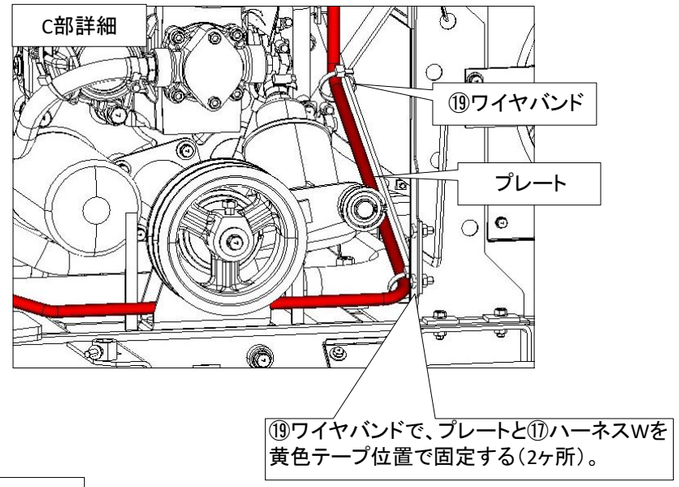
2.作業手順

5.バッテリを取り外します。(取扱説明書による)

6.ロックピンとカバー(M6ボルト)を外します。







7.右図の要領で、⑰ハーネスWを取り付けます。(理解のために、周辺部品は消してあります)

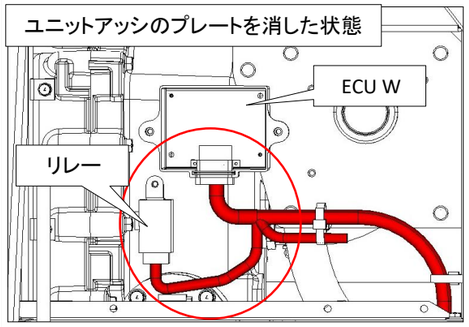
＊ハーネスの配策について

過度に引っ張ったり、緩ませたりして、固定しないこと。

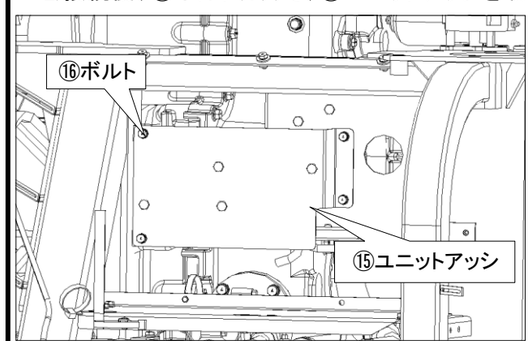
また、回転物、摺動物、鋭利な角部との接触がないことを確認すること。

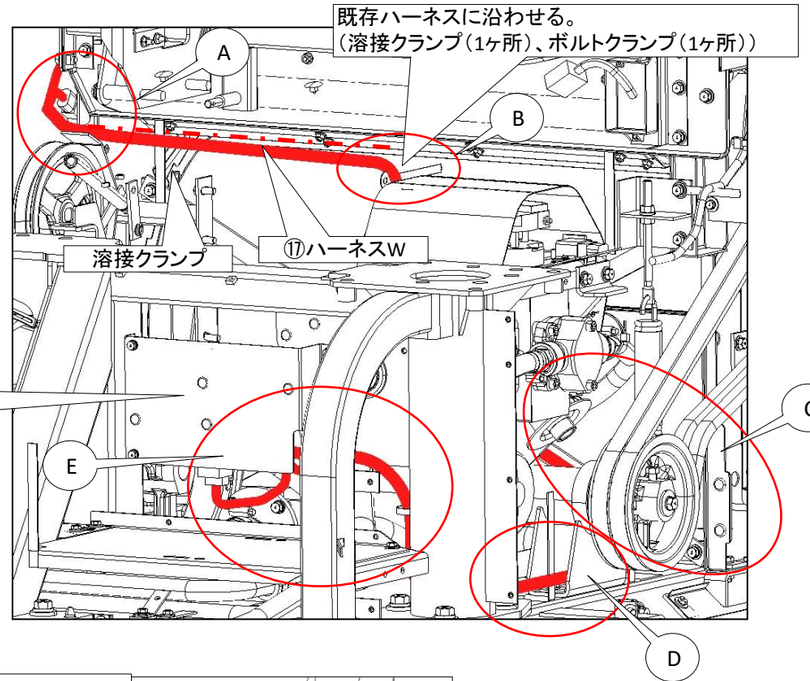
8.下図の要領で、⑮ユニットアッシを取り付けます。

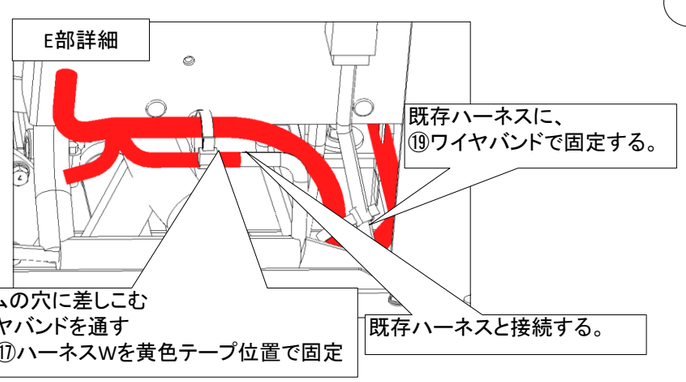
1)取付前に⑮ユニットアッシのリレー、ECU Wと⑰ハーネスWを接続する

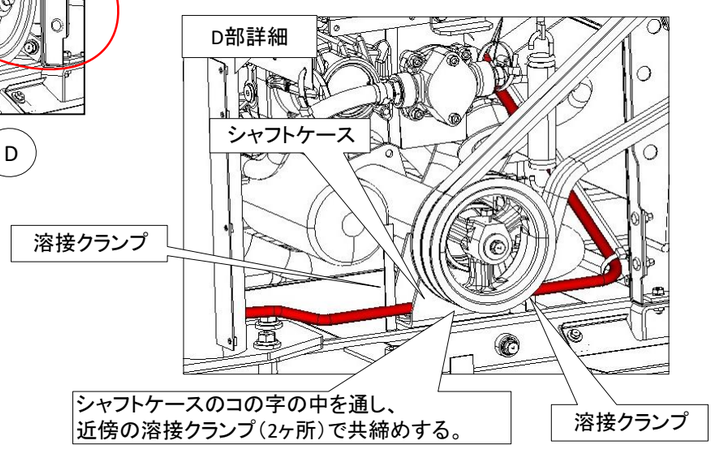


2)接続後、⑯ボルト(4ヶ)で、⑮ユニットアッシを取り付ける









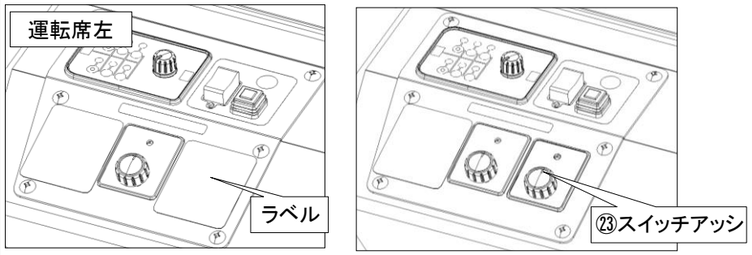
9.取り外したカバー類、バッテリを取り付けます。(取扱説明書による)

2.作業手順

10.下図の要領で、スイッチアッシを取り付けます。

1)運転席左操作パネルの前方のラベルをはがす

2)ラベルを剥いだ穴から㉓スイッチアッシとの接続カプラを引き出し接続し、㉓スイッチアッシを取り付ける



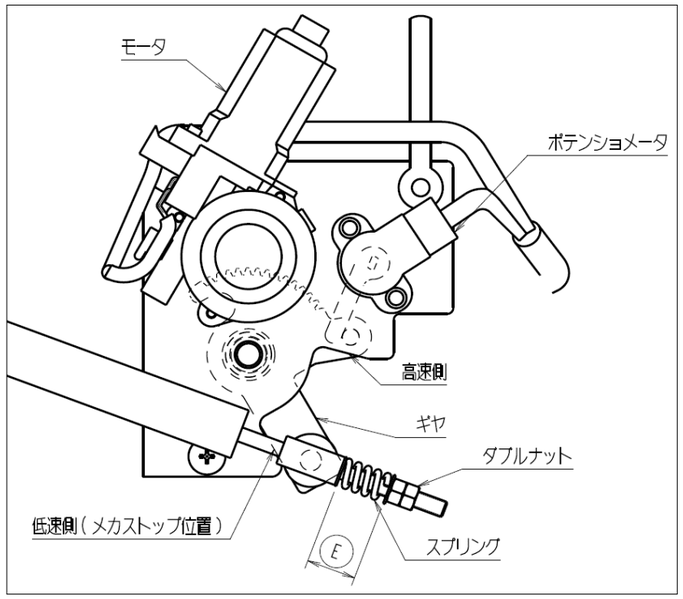
11.変速部調整

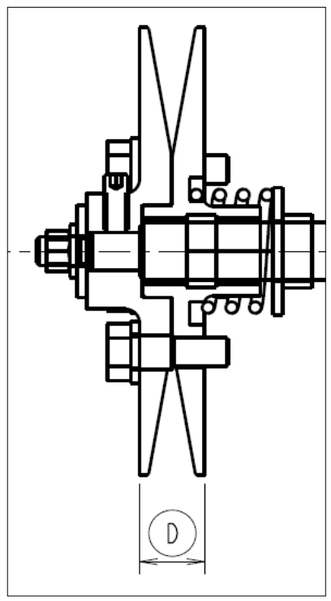
下記手順で、変速部の初期調整を行ってください。

1)①モータアッシ内にあるポテンショメータの低速側・高速側リミット点をメモリバックアップすること。
（トウミポテンショバックアップ方法参照）

2)㉓スイッチアッシのダイヤルが、自動OFFかつ最低速位置で脱こくを10秒程度空回しし、
ギヤが低速側にある（メカストップから2～3mm程度離れている）ことを確認すること。

3)⑧プーリアッシの外幅Ⓓが23±1mmの状態で、スプリングを24^{0}_{-1}mm（Ⓔ）にセットし、ダブルナットでロックすること。





12.作動確認

脱こくを空回しした状態で、㉓スイッチアッシのダイヤルを回し、モータが作動することを確認してください。

13.グレンタンクを閉め、サイドカバーを取り付けてください。

以上で作業は終了です。

<トウミポテンショメモリバックアップ方法>

メニュー［1］　選択［06］

8	トウミポテンショ上下限リミット位置				・マイコン交換時、ポテンショ交換時、トウミ変速部品分解時に行います。 ・リミット点を記憶して駆動する範囲を決定します。
	モード	A	コード	1060	

＜手順 A＞

1. メモリバックアップを起動します。（エンジンを始動します）
パワークラッチを《脱こく》にします。（トウミ変速作動条件）
2. 上記コードを選択し、決定スイッチを押します。 1 0 6 0 点灯 →書き込み準備状態
◎コードの点滅表示が点灯表示に変わります。
4. もう一度決定スイッチを押します。
トウミポテンショが自動セットアップを開始します。
自動的にトウミ回転の＜増速側＞＜減速側＞のリミット点まで動きます。
各リミット点でホーンが鳴ります。
ブザー断続音が２回鳴り、１０６０表示が１０６１に変わります。 1 0 6 1 点灯 →書き込み完了
１０６０点滅表示に戻ります。（バックアップ終了） 1 0 6 0 点滅
5. スタータスイッチ切で終了します。

以下は詳細手順

トウミポテンショ
メモリバックアップ

↓

バックアップモード
スタータスイッチ《OFF》状態で
1)決定スイッチ　《ON》
2)選択スイッチ　《下げ》
にし、エンジンを始動する(ローアイドルでOK)。

↓

ブザーが2回鳴る

↓

パワークラッチ《脱こく》とする。
(唐箕変速作動条件として必要)

↓

メニュースイッチで メニュー"1"を選択表示させる。
選択スイッチで選択表示を"06"表示させる。
決定スイッチで選択する。

↓

決定スイッチを押すと、
トウミポテンショ自動セットアップ開始

----自動セットアップ動作----
1) 増速出力しリミット位置の選別風
ポテンショ値を記憶
→ ホーン単音
2) 減速出力しリミット位置の選別風
ポテンショ値を記憶
→ ホーン単音

↓

ブザー断続音が2回吹鳴
(ピピピ・ピピピ)
書き込みOK表示[1]

↓

スタータスイッチ《OFF》

↓

完了

